



## 函館市医師会館・看護専門学校 新築落成記念式典挙行

函館市医師会（会長 山 英昭）は平成16年12月、かねてからの懸案であった医師会館と看護専門学校（附属看護高等専修学校）を函館市元町から同医師会健診検査センターの隣接地湯川町3丁目へ移転新築した。

看護専門学校は17年4月から准看護学科（昭和28年建学、2学年、定員80名）のほかに看護学科（2学年、40名）を新設した。建物は鉄骨3階建てで、敷地面積は約2,040㎡、延べ床面積は2997.09㎡で旧会館（学校）の約3倍となる。3月20日の内覧会には120名が来場、同日の記念式典、祝賀会はホテル函館ロイヤルにて挙行され、146名が出席した。



### 山 英昭函医会長 式辞（要旨）

多数のご来賓の皆様のご臨席に衷心より感謝申し上げます。

函館市医師会は、昭和22年11月新制医師会として発足、本年で58年を迎えた。この半世紀の日本の発展は誠に著しく、わが医師会も先人のご努力により、さまざまな困難を乗り越えて発展し、組織を拡大してきた。そのひとつに准看護師養成施設である看護高等専修学校があるが、医師会館と看護学校は昭和39年の竣工以来40年の年月が経過、老朽化著しく、併設移転は長年の懸案であり、平成15年8月の臨時総会で医師会館、看護高等専修学校の併設移転が可決承認された。

その後約1年間の短期間で全てを準備、昨年7月起工式、10月上棟式、12月に竣工し本日を迎えた。偏に皆様の支援のお陰であり深く感謝申し上げます。

看護高等専修学校は、これまでに3,256名の卒業生を輩出したが、本年4月からは看護専門学校と改称し、准看護学科に新たに看護学科を設置し

た。准看護師ならびに看護師を養成しつづけることで、道南圏における地域医療において看護師不足解消に大いに寄与できるものと確信している。

函館市医師会の今日までの発展は、各界、各層の皆様のご理解とご支援、諸先輩、役員、会員の一致団結、協力の労苦の賜物であり、心から敬意と感謝の意を表す。

函館市医師会は、この記念式典をひとつの契機として、医師に課せられた社会的使命の重大さを認識し、役員、会員、職員一丸となって地域と共に歩む医師会として、これからも前進を続ける所存である。



### 飯塚弘志道医会長 祝辞（要旨）

貴会看護学校の歴史は、大正15年に地元小学校を借りて看護養成所を開いたのが始まりと聞いている。昭和28年4月に医師会附属養成所として認可、以来半世紀にわたり優秀な卒業生を送り出し、地域医療の確保に大きく貢献してこられた。

新会館は、諸設備が整備され、校舎も機能性に富み、素晴らしい環境である。進学課程の新設により看護教育が一層充実され、道南地域の医療の質の向上が図られることは、地元住民はもとより私ども医療に携わる者にとって大変心強い。

山会長を始め役員、学校関係者のご努力と、行政、工事関係者各位のご支援、ご協力の賜物であり深甚なる敬意を表す。

わが国では今、社会保障制度全般にわたり様々な課題が山積している。国民の健康に対する価値観も多様化し、医療の高度化、専門化に対応できる人材や心豊かな人間性、的確な判断力や実践力、他職種との調整能力、在宅ケア能力などを有する質の高い看護要員の確保と医療の質の向上、安全で安心できる医療提供体制の再構築が望まれ

ている

北海道医師会では、地域医療の確保を図るため、今後とも看護職の3層構造体制を維持しながらマンパワーの充実に向け尽力し、国や道に対して看護学校の運営への支援を要望していく。

落成を新たな出発点とされ、看護教育の充実と養成力の強化を推進し、会員、地域住民が求める人間性豊かで、質の高い看護職員の養成、確保にご尽力されることを期待申しあげる。



この後祝賀会に移り、札幌市（河西）、旭川市（増田）、室蘭市（齊藤）、小樽市（高橋）、苫小牧市（水元）、釧路市（西池）各医師会から会長、副会長が登壇され、お祝いの言葉が述べられた。盛況であり、その豪華な顔ぶれは北海道医師会そのものの知（ち）と、団結の強さを感じさせるものであった。設計、工事から始まり全ての経過が夢のように過ぎ去り、順調であった。陰で全てを支え、札幌、函館間を往復し続け、疲労の中で指揮を振った伊藤丈雄函館市医師会副会長の実行力に、竹田公一総務部長、本間 哲財務部長、ほか実行委員会関係各氏、そして函館市医師会職員の並々ならぬご苦労に心底より拍手を送りたい。

（函館市医師会 副会長 今 哲二）

～記念式典次第～

司会	函館市医師会理事	竹田 公一
開会のことば	函館市医師会副会長	伊藤 丈雄
式 辞	函館市医師会会長	山 英昭
祝 辞	北海道医師会会長	飯塚 弘志 様
	衆議院議員	金田 誠一 様
	北海道議会議員	川尻 秀之 様
	函館市長	井上 博司 様
祝電披露	函館市医師会理事	佐藤 信清
感謝状ならびに記念品贈呈		
1. 建築関係		
	株式会社 澄建築設計事務所	
	代表取締役	澄 信一 様
	株式会社 高木組	
	代表取締役社長	黒田 憲治 様
2. 功労会員		
	恩村 恭平	藤岡 敏彦 葛西善一郎
	辻 功	後藤 暉 金井 卓也
（敬称略、順不同）		
閉会のことば	函館市医師会副会長	今 哲二



函館市医師会館・看護専門学校（外観）



記念式典式辞：山 英昭 函館市医師会会長



記念式典祝辞：飯塚弘志 北海道医師会会長